

○ 農業者の健康づくり教室やひまわりの種の配付で農業委員会をPR(石川県津幡町農業委員会)

1. 農業委員会の概要

● 農業委員: 11名(うち女性2名) 農地利用最適化推進委員: 15名

2. 取り組みのきっかけ

- 農業者の高齢化が進む中、健康に関心を持ってもらい、健康で明るくいいきと農業ができるよう、女性委員が主導し、「健康づくり」教室を企画した。
- 津幡町にある「河北潟干拓地ひまわり村」のひまわりの種は、以前は「ひまわり油」として加工販売を行われていたが、数年前より収穫されず活用されないままであった。同施設を管理する土地改良区の同意のもと、この種の有効活用方法として、イベント等での配付を女性委員が発案した。

3. 具体的な取り組みの内容

【健康づくり教室】

- 「骨粗しょう症」や「フレイル(要介護の予備軍)」についてなど、健康に関する講座を地元病院の出前講座を活用して開催した。
- 「農作業の合間の昼食」や「骨粗しょう症予防」などをテーマに、調理師や栄養士を講師とし、料理教室を開催した。

【ひまわりの種の配付】

- 農業委員会や河北潟干拓地のPR、花を育てて農業の良さを感じてもらうことなどを目的に、県農業委員会女性組織が出展するイベントや町のイベント等で配付している。また、関係者にも配付し、休耕地でひまわりを育ててもらい、遊休農地の解消にも活用している。

